



チップ化・保管されている汚染ホダ木

◆放射汚染された牧草の保管状況

放射汚染された牧草は、3カ所...



再除染が実施された寺沢牧場の草地



放牧が再開された寺沢牧場

【調査日】平成27年5月26日
【調査箇所】宮守町砥森第三市有林内、寺沢牧場他
【参加議員】全員

市政調査会5月例会と放射能汚染対策調査特別委員会を併せて実施し、放射能で汚染された原木しいたけホダ木、牧草の保管状況と再開された寺沢牧場について調査を行った。

放射能汚染牧草・ホダ木の保管状況等を調査
市政調査会・放射能汚染対策調査特別委員会

◆放射能汚染された原木しいたけホダ木の保管状況

放射性物質濃度が指標値50Bq/Kgを超えるホダ木を収集チップ化し、袋詰めして青笹町中沢地内の市有地に保管していた。現在は、宮守町砥森第三市有林内に保管場所を45ha造成し、中沢地内市有林から保管場所を変更している。

の集中保管施設に保管されており、今回の調査では、宮守町、小友町の汚染牧草を保管している西部保管施設を調査した。当市の汚染牧草は3施設に約1,500t搬入され、4月30日現在で770tが焼却処分され、730tほどが保管されている。西部保管施設には、180tほどの汚染牧草がラップ化され、3つのテントに保管されていた。

ラップ化された汚染牧草は、発酵や腐れにより異臭を発していたが、利用自粛牧草再ラップ化事業により、8月から再度ラップ化し、5年間は保管可能とのことである。花巻市、北上市では、汚染牧草の焼却がすでに完了している。当市の清養園クリーンセンターの稼働は、平成27年9月末までとなり、9月末までの残量は、600tほどが見込まれ、新たな焼却方法等の検討が必要となつていくこととなっている。

◆寺沢牧場の放牧再開
平成24年度から寺沢牧場を皮切りに、市内全域の草地除染が行われ、平成26年度末に利用自粛対象地の耕起が完了した。寺沢牧場177haの内、10haの再除染草地があり、除染作業が行われていた。寺沢牧場は5月22日に開放され、放牧された黒毛和種が緑の草原で育んでいた。

政務活動費を公表します

【平成26年度政務活動費執行状況（平成26年11月～平成27年3月）】

平成26年度（改選後）の議員の調査研究活動のために税金から交付される「政務活動費」を下記のとおり公表します。交付額は1人につき25,000円（総額450,000円）で、平成26年度（改選後）の執行率は92.6%でした。

●支出費目別内訳

(単位：円)

Table with 10 columns: 議員氏名, 交付額, 調査研究費, 研修費, 広聴費, 資料作成費, 資料購入費, 支出合計, 政務活動費分支出額, 執行率. Rows include names like 小林立栄, 菊池美也, etc., and a total row at the bottom.

※議員に交付される政務活動費は、年額60,000円ですが、昨年10月に任期満了による改選が行われたため、今回の決算では改選後の分のみを掲載しております。

※1人当たり交付額25,000円を超える支出については自己負担となっております。

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介いたします。（なお、文章は原文のまま掲載しています。）

市政課題について、沢山の意見等が述べられ、遠野のこれからの発展に期待がかかります。人口減少は、若者が働ける雇用の場、人材の募集の増加などに力を入れてほしいです。（早瀬町 女性）

色々と多い課題があると思いますが、一つ一つの議案の可決を期待しています。（遠野町 男性）

市の中心だけが活性化して、市の外れの方は取り残されるようでさびしい。（宮守町 女性）

市内に障がい者の求人が少ないので、就業場所・障がい者の求人を増やしてください。（綾織町 女性）